

第31回

やまがた農村フォトコンテスト

[募集テーマ]

やまがたの農村をテーマに、あなたが伝えたい山形の農村の四季、風景、働く喜びなど、幅広く農村生活をとらえたもの(田園の風景、農作業の風景、伝統文化(祭り)、疏水、地域保全活動等)



優秀賞



「熱演仁田山獅子踊り」戸塚 喜八(新庄市)

■新庄市



「じゅん菜 採れたよ」鈴木 貞治(天童市)

■村山市

山形新聞社賞



「朝陽に輝く」佐竹 吉廣(寒河江市)

■朝日町



「秋晴れの芋掘り」加藤 修一(舟形町)

■舟形町

特選



「村祭りの公園」富樫 韶(酒田市)
■鶴岡市



「帰り道 ひと休み」結城 謙司(中山町)
■中山町



「里山の詩」黒沼 末八(山形市)
■山形市

入選



「実りの秋」島賀 一郎(飯豊山)
■飯豊町



「横町神代神楽」
佐々木 吉治(酒田市)
■遠佐町



「里の初雪」齋藤 徹(飯豊町)
■飯豊町



「貴女(あなた)と共に」
佐々木 茂(秋田県大仙市)
■畦川村



「夜明けの水田」齋藤 勝美(山形市)
■長井市



「雪っ子の出番」
松木 勇紀(南陽市)
■長井市



「秋日和」阿部 紀秋(山形市)
■山辺町



「まつりをかもす人力車」
三浦 民雄(酒田市)
■鶴岡市



「蕎麦花の絨毯」
芹澤 裕行(米沢市)
■米沢市



「ヒマワリ畠夕景」
工藤 省三郎(鶴岡市)
■鶴岡市



優秀賞

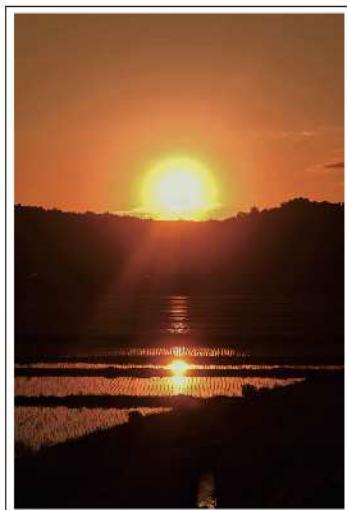
最優秀賞



「みんなですか!おいしいな!」

齊藤 凜子(尾花沢市立尾花沢中学校1年)

■尾花沢市



「夕映えの水田」

齋藤 泰地
(山形県立山形南高等学校1年)
■大石田町

「うおつとつと」

設楽 旦陽
(山形県立山形南高等学校2年)
■村山市

特選



「ほし草づくり」

石崎 叶芽(庄内町立立川小学校4年)
■庄内町

「元気玉」

加藤 ゆま(鶴岡市立豊浦小学校3年)
■鶴岡市

「夏、田にひとり」

須田 太志
(山形県立山形南高等学校1年)
■大蔵村

入選



「うしのたべものづくり」

石崎 大賀(庄内町立立川小学校1年)
■庄内町

「風車の上の大きな鳥」

佐藤 希衣
(鶴岡市立豊浦小学校6年)
■鶴岡市

「ハートのなかみ」

渡辺 叶愛(尾花沢市立尾花沢中学校1年)
■尾花沢市

審査講評

山形県写真連盟 会長
阿部 直美

平成5年に第1回が実施されてから31回目を迎えた「やまがた農村フォトコンテスト」ですが、この間、多くの写真愛好家が農村の四季や風景、人々の働く姿など幅広い農村の生活をテーマにそれぞれの視点で捉えた写真を応募され、

農村の良さや農業の大切さを表現していただきました。

今回は、一般の部に66人から167点、学生の部には小・中・高校生77人が84点の応募がありました。総数で143人から251点で昨年より若干少ない応募状況でしたが、小学1年生から59歳までの幅広い応募者があり、本コンテストが広く知られていると実感したところです。

応募作品は、農村や農作業の風景等を捉えた素晴らしい写真がほとんどで、審査には大変苦労しました。入賞された皆さんには心からお祝い申し上げます。

私たちの周りには、農業に関わる文化や民俗行事、ふるさとの原風景が数多く残されています。それらを後世に伝えるためにも、皆さんの豊かな感性で被写体に接し、感動する写真を振り流けていただくことを期待します。

[一般の部]

最優秀賞

「収穫の喜び」

渡辺 亮介（山形市） ■撮影場所／山形市

人型のダイコンを手に満面の笑みを捉えたタイトル通りの作品です。年輪を重ねたおばあさんの顔のしわですら喜びを表現しているようで見ているだけでこちらにも喜びが伝わってくる写真です。カメラに向かって屈託のない笑顔を見せることができるはひょっとして撮影者のお母さんでしょうか。カメラマンとの間に信頼感が感じられる素晴らしい作品です。



優秀賞

「熱演仁田山獅子踊り」

戸塚 実八（新庄市） ■新庄市

新庄まつりの後まつりで奉納される仁田山鹿子踊りを捉えた作品です。逆光の中、二人の舞手が舞う姿を的確な露出とシャッター速度で表現した動きのある、熱度の高い作品です。舞手の足元の影、獅子頭の前幕を通した顔のシルエットを脱しこんだ所など撮影者の計算通りに表現された美しい写真に仕上がっています。



水土里ネットやまがた会長賞

「じゅん菜 採れたよ」

鈴木 貞治（次郎町） ■村山市

村山市の通称「ジュンサイ沼」で体験摘み取りを行っている観光客でしょうか、3人の表情がとても素敵です。ぬるぬるした触感のジュンサイを摘み取り、カメラマンに向かって誇示している姿は微笑ましさすら感じます。摘み取り開始時期の間もない日かと思いますが、水芭の葉も青々としていますし、初夏の風物詩の雰囲気が伝わってくる作品です。



優秀賞

「朝陽に輝く」

佐竹 吉廣（寒川町） ■朝日町

朝日町根平の棚田を捉えた作品です。よく応募されてくるのは田植えの後や稲が色づいた頃のものですが、この作品のようにうっすらと雪が降った早朝、朝日に赤く染まった根平の棚田の姿を捉えた写真は珍しく、新鮮な感動を覚えた作品です。さらに光が当たった場所と日陰の部分を適正な露出で捉え、初冬の雰囲気を上手に表現した作品です。



山形新聞社賞

「秋晴れの芋掘り」

加藤 修一（山形市） ■山形市

お孫さんでしょうか。大きなサツマイモを手に芋掘りを初体験した方の笑顔が伝わってきます。逆光気味のためカメラレンズによるフレア現象が映り込んでしまいましたが、逆にこの子の手元にスポットを当てているような効果が現れています。秋ならではの収穫風景を子供の姿を通して表現した作品に仕上がってています。



[学生の部]

最優秀賞

「みんなですか!おいしいな!」

齊藤 涼子（尾花沢市立尾花沢中学校1年） ■尾花沢市

元気いっぱいの中学生4人の男の子がスイカのオブジェと一緒にかぶつこうとした場面を捉えた作品です。4人の男の子は同級生なんでしょうね、心を計りあえる友達が見える表情を見事に捉えています。1人のお茶目な表情が表現されており、見る側にも温かい、ほのぼのとした感情を抱かせてくれる作品です。



今年度の展示は11月6日に山形テルサで行う土地改良大会のときのみとなります。

主催：スドリ 水土里ネットやまがた（山形県土地改良事業団体連合会）

協賛：(株)メコム／富士フィルムビジネスソリューションジャパン(株)山形営業所／山交観光(株)
(有)たかしま保険サービス／(株)ユアシス／(株)山形測器社

後援：山形県／山形県多面的機能支払推進協議会／山形県写真連盟／山形新聞・山形放送

SANAE PHOTO GALLERY 写真館'23

入賞作品を紹介しています
www.sanae.or.jp

お問い合わせ



スドリ 水土里ネットやまがた（山形県土地改良事業団体連合会）

第31回 やまがた農村フォトコンテスト事務局

T990-2473 山形市松栄1-7-48 TEL 023-647-5371 FAX 023-647-5391